

ご協力ありがとうございます！

【1月の寄付金】(敬称略)

山本豊呼、太宰府ゴルフ倶楽部、(株)博多ステーションビル
トヨタモビリティパーツ(株)九州北部統括支社、(株)石村萬盛堂、
高取公民館、(株)九電工、(株)戸上電機製作所、(株)戸上メタリックス
大野城市国際交流協会、佐賀県商工会議所連合会
(一社)佐賀県建設業協会、佐賀県農業協同組合中央会、
(特活)らいふステージ、西日本鉄道(株)

【1月の寄付品】(敬称略)

シブス(株)、荏原美知勝、進藤國之助、松永賀代子、本村聖華、
ドミックスコーポレーション(株)、九州バイオカーボン(株)、坂田艶子、
原田明、中島保文、(株)カクマル

鬼木大明神 今月の一句

コツコツとまじめに！！才能がなくても努力すれば前進できる！自分で「自分をこんな人間」と限定してしまうな！ためらいは自分にとって敵だ！

たゆみなく現状打開、
現状改革を続けろ！！

きつと進歩し、成長もできる！

他人の話や忠告にも素直に
耳を傾けろ！！へつらうことも

おごることもない自分の力を磨き続けようじゃないか！！



2月の予定

- 4日 チャレンジアクションプラン・ウス(パン)販売日
- 8日 岩田産業(株)ワンコイン贈呈式
- 10日 チャレンジアクションプラン・フィナ(パン)販売日
- 18日 チャレンジアクションプラン・ハナ(パン)販売日
佐賀県推進協議会幹事会
- 25日 ウス・フィナ・ハナ帰国予定

体験農園だより

新型コロナウイルスの感染拡大が始まってから約1年が過ぎました。未だに終息の見通しが立たない中で、緊急事態宣言の発令も含め社会全体が自粛を余儀なくされていますが、私たちは目に見えないウイルスの脅威にさらされながら、これからも日常生活を送っていくことになります。マスク、手洗いの徹底はもちろんですが、ウイルスに負けない身体づくり、免疫力を高める食生活や睡眠に気を付けながら、生活習慣を改善していくことが重要になります。

コロナ禍の中で、オイスカの体験農園は参加者も増え、家族連れで参加している方は、みんなで土に触れながらダイコンやニンジンなどの野菜を収穫して、その自然の恵みを食しています。こういう時だからこそ体験農園に参加して、家族みんなで土や自然に触れ、家族の絆を深め、その自然の恵みを感謝しながら食べる事で、更に健康な身体をつくる事が出来たらいいですね。皆さんも是非、オイスカの体験農園に参加しませんか。(豊田)

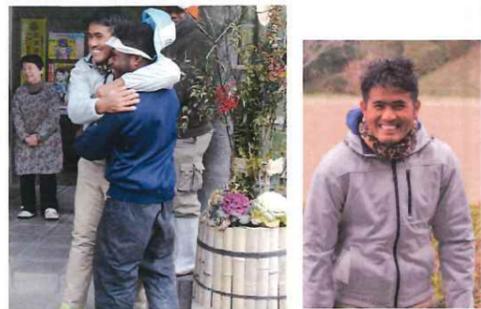


↑吉武さん

ミャンマー研修生帰国

1月7日、ミャンマー研修生のジョーさんがセンターを出発して、翌日帰国しました。ジョーさんは救援便の申請を出していたので、年が明けてすぐ帰国することになりました。出発する前のスピーチでは「いろいろ話すことを考えていたけど忘れてしまいました。日本でいろいろな勉強が出来て良かったです。皆様ありがとうございました。」と話していました。ジョーさんは病気やケガをすることなくいつも元気でした。帰国後2週間の隔離も無事に終え、故郷で元気に過ごしているようです。また12月に受けた日本語能力試験のN4に合格したことを聞いて喜んでいました。これからの活躍を皆で楽しみにしています！(園田)

↓ルームメイトのマックスさんと



まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oisca@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)

第 685 号

令和 3 年 2 月号付録



←Facebook に日頃の様子を更新中!
是非チェックお願いします!



新年初詣

新型コロナの影響で、夏冬のホームステイも中止となり、研修生は年末年始もセンターで大人しく過ごしました。年明けの元旦には地元の横山神社に詣で、4日の仕事始めは全員揃って博多区の住吉神社と中央区の護国神社に初詣に行きました。毎年恒例の初詣については、事前に研修生に初詣の意味を教え、皆神妙な顔つきでそれぞれの思いを持って参拝しました。特にコロナが一刻も早く収束し、みんな元気に活動できるように願った事と思います。今年度の研修生があと5名帰国できずに研修を続けていますが、その分、もっと多くの事を学んで欲しいと、センターでも色々工夫しています。今年も頑張っていきますので、皆様、応援よろしくお願いします。(廣瀬)



住吉神社での参拝の様子



福岡県護国神社で記念写真



門松と一緒に

ほんげんきょう

1月17日(日)に脇山で開催されたほんげんきょうへ参加しました。ほんげんきょうとは、いわゆる左義長のことで、正月飾りのしめ縄や門松などを持ち寄って燃やし、無病息災など願う行事です。福岡市内でも中止する校区が多い中、脇山校区では無事に開催されました。研修生たちは、はじめて見るほんげんきょうに目を奪われていました。当日は少し気温が低かったため、ほんげんきょうの火で暖を取りながら、1年間の無病息災を願いました。その後、抽選会が行われ、毛布や小椅子などをいただきました。今年も健康に気をつけながら1年間頑張りたいと思います。(飯川)



炎の前で集合写真

雪遊び

1月9日(土)、センター周辺にたくさん雪が積もったので掃除の後、研修生とスタッフで脊振山の麓へ行ってきました。雪だるまを作ったりそりで遊んだり、雪合戦もしました。雪合戦は研修生もスタッフも本気です。四方八方から雪がとんできて逃げるのに必死でした。疲れて一休みした隙を狙ってまた攻撃されるというのを繰り返し、汗をかくほど暑くなりました。雪がたくさん積もるのは久しぶりなので研修生達は「2020年の研修生はラッキーね〜!」と喜んでいました。(園田)



日本語の様子⑨

本来であれば、12月に修了式を終えて、1月15日に帰国という予定の研修生でしたが、今年はコロナの影響で数人が帰国せずに、研修を続けています。そんな中、1月25日に日本語能力試験の結果がインターネットで開示されました。結果は下記のようになりました。

N4 … 4名受験 4名合格 N5 … 7名受験 4名合格

このテストの結果だけが、研修生の日本語力であるとは言えません。試験に合格しなくても、日本語が上手に話せる人はいます。合格した人も、不合格だった人も、今回の結果を見て、じっくり内省する時間を持ち、それぞれの次のステップへと進んでほしいと思います。また、同時に受験した技能実習生は、8人受験して、2人合格しました。1人は、仕事の休憩時に、お弁当を食べながら勉強していたそうです。まさに努力が実を結んだ結果だと言えます。モンゴル人研修生ニヤマさんの好きな日本語は、「日々精進」だそうです。彼は、それを実行し、合格することができました。今年度の研修生は2月入国の予定でしたが、まだ目途はたっていません。入国が遅れ、日本語の学習時間も少なくなるかもしれません。今年度は、ニヤマさんに、改めて教えてもらった「日々精進」という言葉を胸に、私自身も考え、工夫し、日本語指導をしていきたいと思っています。みんな、よく頑張りました。そして、新しい研修生、待っています！(立石 考子)

農場研修の風景

去年の秋冬野菜は、今まで経験したことがないような安い値段で、スーパーへ行くと小松菜が40円、キャベツが60円など、考えられないような価格で販売されていました。野菜の値段というのは、市場の原理で農家さんからの出荷する野菜の量と、買う人の消費する量の上下で決まってくる。昨年の秋は、野菜の生育が比較的良好で、一部災害に見舞われた地域もありましたが、全国的にみると豊作ということでした。

そして、施設内で育てる葉物や出荷量が増えたキャベツなどは生育が進みすぎるので、慌てて大量の荷物が市場に流れてしまったという事になります。オイスカの野菜たちもその影響を受け、通常の2~3割安い値段で販売する日が続きました。年が明けてから大雪や寒波の影響で畑の野菜は凍り付き、冷たい手に息を吹きかけながら研修生は毎日収穫作業に励んでいます。少しでも高い値段で販売出来て、お客さんに喜んでもらえたら嬉しいですね。(豊田)

会員様紹介(オイスカ朝倉推進協議会)

Alto Grande Co., Ltd. ミュージックスタートレンドアカデミー 様

弊社はオイスカの法人会員として平成30年に入会しました。令和元年5月に福岡国際会議場にて、環境保全チャリティー全国歌謡選手権大会を開催いたしました。オイスカの研修生にはオープニングをバンブーバンドで盛り上げてもらい、たくさんの方にもご参加いただき、盛会で終わることができたのは、ひとえに皆様のご支援・ご協力のおかげです。この場を借りて改めて御礼申し上げます。また、弊社タレントである何川美聡(なにかわみさと)は、中野良子総裁が作詞作曲されたオイスカソング「いのち輝け」を歌わせていただいております。音楽は世界共通のものであり、言葉は通じなくとも人と人とを繋ぎ止め心を豊かにする力を秘めていると私たちは信じています。そのため、オイスカの理念・理想を反映しているこの素晴らしい歌を、日本国内だけでなく海外の人々にも届け、一人でも多くの方にオイスカを知っていただけるよう微力ながら尽力させていただきます。

Music Star Trend Academy はおかげさまで今年30周年を迎えた老舗ボーカルスクールです。これまでに1,000人以上を指導し、エイベックス、ソニーミュージック、ポニーキャニオン、日本クラウン、徳間ジャパンなど大手レコード会社から多数のプロを輩出してきました。また、本社である株式会社 高大 (Alto Grande)は、ボーカルスクール運営、プロダクション業務、映画制作、ユニバーサルデザイン・バリアフリー推進事業など多岐にわたる事業を展開しております。

今後も音楽を通して、環境保全活動に長きに亘り取り組むオイスカの活動の一助になれば幸いですよう活動していく所存ですのでよろしくお願いいたします。

MUSIC STAR TREND ACADEMY
〒810-0021 福岡市中央区今泉2-3-21 松永ビル403
(旧HACONの跡地) 電話(予約可)
TEL: 0120-087-610
w-japan.music@crest.ocn.ne.jp
https://msta.site

alto grande
株式会社 高大 (Alto Grande)
本社 〒820-0075 福岡県東海市天濠2-1
TEL: 0949-29-0888 FAX: 0949-29-0889
MSTA福岡本部 (Alto Grande 事業部) 〒810-0021 福岡市中央区今泉2-3-21 松永ビル403号室
TEL: 092-732-1100 FAX: 092-732-1106
営業所 札幌・東京・西宮 大分・鹿児島・沖縄



2020年度研修生 アクションプラン

農業機械のレンタルサービスを始めたいです。(ニブン)

研修生に有機農業を教えたいです。養鶏と養豚をしたいです。(ジェレミー)

ふるさとで家族と一緒に養鶏と野菜の栽培をしたいです。(マックス)

チンゲンサイ、カボチャ、スイカの栽培と堆肥を作りたいです。(パウ)

農業のビジネスを始めて農林業、水産業など幅広い産業を発展させたいです。(アフィー)

トマト、キュウリ、イチゴ、ブドウ、メロン、リンゴを栽培したいです。(ニヤマ)

センターで農業の指導員をした後、ふるさとで養鶏をしたいです。(デリック)

パンやお菓子のお店を作りたいです。(フィナ)

果樹園と果物の加工品の店を作りたいです。(ハナ)

農家のお母さんにネギやチンゲンサイの作り方を教えたいです。(テンジン)

ミャンマーセンターでいろいろな野菜を栽培して、研修生達に野菜の栽培を教えたいです。(ジョー)

アボカドや祭りで使う花(マリーゴールドとケイトウ)の栽培をしたいです。(マーティン)

菌床しいたけの栽培を自宅の敷地でしたいです。(ジュディ)

パンのお店と服を作って販売したいです。(ウス)

OB 研修生 活動紹介 今回紹介するOB研修生は、2004年に1回目の研修(約1年間)、そして2回目は2010年にOBとして農業指導者研修で15カ月間在籍したミャンマーのOB研修生チョコさんです(ちなみにNHKの「チョコちゃん」とは全く関係はありません)。それでは、チョコさんにインタビューをした内容をまとめましたのでどうぞご覧になってください。

みなさんこんにちは。私はチョコと申します。2004年と2010年の2回、西日本センターでお世話になりました。私は2回目のOB研修が終わってから、3

年間はオイスカのセンターでWFP(世界食糧計画)の活動で地域開発の仕事に関わってきました。そして、2014年からオイスカでの経験を活かして、日本のソーシャルビジネスの会社(ボーダレスジャパン)がミャンマーで展開している活動に参加して、ミャンマーのシャン州という所の山間部に住んでいる農家さんのために、ハーブ栽培の普及活動を行いました。現在は、そのハーブの活動はほかのオイスカOB研修生にお願いして、私はマイクロファイナンスの取り組みを同じシャン州の農家さんに行っています。その取り組みの内容は、2パーセントという低金利で農家にお金を貸して、ニンニクやトマトなどの栽培指導やボカシづくりなどの指導を行い、農家さんが持続可能な農業をしながら収入があがることを目的に活動を進めています。現在一緒に働くスタッフは35名、メンバーとして登録している農家さんは3000名おり、年間1500万円のお金を貸しています。農家の皆さんは、安い金利でお金が借りられるのでとても喜んでます。将来的には、農家さんが育てた野菜をまとめて買い取り、ヤンゴンなどで販売できるようにしたり、畜産(牛や豚)関係での支援も行っていきたいと考えています。オイスカメンバーの皆さんには本当にお世話になっています。私は時々日本の事を思い出し会員のみなさんにとても会いたくなります。時間があつたら是非、私の活動している現場を見に来ていただき、皆様に会える日を楽しみにしています。

